

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	グローバル情報キャリア学院
設置者名	学校法人東和学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	情報システム学科	夜・通信	180 時間	80×2=160 時間	
商業実務専門課程	ビジネスキャリア学科(2024 年度開設なし)	夜・通信	0 時間	80×2=160 時間	
	ビジネスキャリア学科 (2025 年度生)	夜・通信	180 時間	80×2=160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://gic.ac.jp/wp-content/uploads/2025/07/R6_jitumu_jugyokamoku_list.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	グローバル情報キャリア学院
設置者名	学校法人東和学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://gic.ac.jp/wp-content/uploads/2025/07/R6_yakuyin_meibo.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	令和7年6月1日～ 令和11年5月31日	理事
非常勤	会社役員	令和7年6月1日～ 令和11年5月31日	理事
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	グローバル情報キャリア学院
設置者名	学校法人東和学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【授業計画(シラバス)の作成について】</p> <p>各授業科目については、毎年度、学内会議(教育内容検討委員会)により、授業科目の設定・講義内容について検討・検証に基づき、各授業を担当する教員により、作成を行っている。</p> <p>学内の教員用内規(シラバス作成の方法)の中で、授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画(各回の授業プラン)、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全科目共通で記載することが必要となっており、学内統一様式でシラバス作成を行っている。</p> <p>【授業計画の作成・公表時期について】</p> <p>翌年度の講義予定(授業計画)は12月～1月に担当教員が作成し、3月までに学内統一様式でシラバス作成を行っている。4月新学期初めに在校生に配布している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>https://gic.ac.jp/wp-content/uploads/2025/07/R6_jitumu_jugyokeikaku.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則の細目において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。各学科で定める授業科目の試験(レポート含む)により成績評価を行っている。</p> <p>(参考)</p> <p>細目第18条 学業成績の判定は、優、良、可、不可の4種をもってこれを表し、次の通りとする。 優は90点以上、良は75点以上、可は60点以上、不可は59点以下とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。</p> <p>細目第19条 本校に在学し、次に定める授業時間数以上を履修し、かつその該当する所定の授業科目について合格に達して卒業資格を得た者には、卒業証書を授与する。 情報システム学科は1,710時間(各年次800時間以上)</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 当校では、就職の学内推薦枠の候補者選定や、奨学金、学業優秀者の表彰候補者選出などに活用している。 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験によって評価される。 単位取得の認定は講義に必要な時間の取得状況と当該科目の評価により行う。客観的な指標として、出席時数が授業時数の80%に達しない者は評価を受ける資格を失うことや授業科目の評価は優(90点以上)、良(75点から89点)、可(60点から74点)、不可(59点以下)とし、可以上を合格としておる。 各科目の成績評価を下記の計算に基づいて、成績総得点として算出する。 $\text{学生成績平均} = (\text{科目A点数} + \text{科目B点数} + \dots) / \text{科目数}$ $\text{在学生成績平均} = (\text{学生A成績平均} + \text{学生B成績平均} + \dots) / \text{在学学生数}$ $\text{下位1/4に該当する指標の数値} = \text{在学生成績平均点数以下}$ 学生に配布している学生便覧に記載しているほか、学校ホームページで公開している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://gic.ac.jp/wp-content/uploads/2025/07/R6_seisekijokyo.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 授業科目の単位修得の認定を受けた学生について成績会議の議を経て、校長が卒業を認定しており、卒業を認定した者に対し、卒業証書を授与する。 このことについては学生に配布している学生便覧に記載のほか、学校ホームページで公開している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://gic.ac.jp/wp-content/uploads/2025/07/R6_sotugyo_nintei.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表(専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	グローバル情報キャリア学院
設置者名	学校法人東和学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://gic.ac.jp/wp-content/uploads/2025/07/R6_zaimu.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://gic.ac.jp/wp-content/uploads/2025/07/R6_zaimu.pdf
財産目録	https://gic.ac.jp/wp-content/uploads/2025/07/R6_zaimu.pdf
事業報告書	https://gic.ac.jp/wp-content/uploads/2025/07/R6_jigyohokoku.pdf
監事による監査報告(書)	https://gic.ac.jp/wp-content/uploads/2025/07/R6_zaimu.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	情報システム学科 (2024年度生)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1710 単位時間/83 単位	1140 単位 時間/64 単位	930 単位 時間/31 単位	0 単位時 間/0 単位	0 単位時 間/0 単位	0 単位時 間/0 単位
		2070 単位時間/95 単位					
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	情報システム学科 (2025年度生)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1710 単位時間/80 単位	690 単位 時間/46 単位	1020 単位 時間/34 単位	0 単位時 間/0 単位	0 単位時 間/0 単位	0 単位時 間/0 単位
		1710 単位時間/80 単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	108人	105人	4人	10人	14人		

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) カリキュラム改正に向けて、学習内容の確認・整理を行い、シラバスを見直すことで、学生により学習効果の高い授業を教授することを目的として委員会を設け、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価等を見直し、冊子で学生に配布しているほか、学校ホームページで公開を予定している。 それに基づいて、年2回以上開催する教育課程編成委員会において実習施設等の要望等、議論する。
成績評価の基準・方法

<p>(概要)</p> <p>単位修得の認定は講義、実習等に必要な時間の取得状況と当該科目の評価により行う。</p> <p>客観的な指標として、出席時数が授業時数の 80%に達しない者は評価を受ける資格を失うことや授業科目の評価は優 (90 点以上)、良 (75 点から 89 点)、可 (60 点から 74 点)、不可 (59 点以下) とし、可以上を合格としており、学生に配布している学生便覧に記載しているほか、学校ホームページで公開している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>授業科目の単位修得の認定を受けた学生について成績会議の議を経て、校長が卒業を認定しており、卒業を認定した者に対し、卒業証書を授与する。</p> <p>このことについては学生に配布している学生便覧に記載している。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>全授業 15 回の講義内容のまとめプリントと講義内容の修得状況セルフチェックのためのミニテストを各授業で行っている。また、随時、担当教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載) 情報システム学科			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25 人 (100%)	1 人 (4%)	22 人 (88%)	2 人 (8%)
(主な就職、業界等) 外食や不動産のサービス業、小売りの販売業、食品や機械の製造業、IT 分野など			
(就職指導内容) 2025 年度 3 月 5 期卒業生向けにエントリーシート、試験模擬、面接模擬、SPI、マナー講座、定期個人面談などを行った。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 日本語能力検定 N2・N1、IT パスポート			
(備考) (任意記載事項) 2025 年 5 月 1 日時点で就職状況			

中途退学の現状 情報システム学科		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
103 人	8 人	7.8%
(中途退学の主な理由) 短期大学以上の学歴を持つ留学生が途中で就職できたことが主な原因である。また、個人や家庭の諸事情で修学意欲がなくなり、帰国したこともある。		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・学費分納制度対象者条件の緩和 ・キャリアパスの形成指導		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業		商業実務課程	ビジネスキャリア学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 単位時間/80 単位	690 単位 時間/46 単位	1020 単位 時間/34 単位	0 単位時 間/0 単位	0 単位時 間/0 単位	0 単位時 間/0 単位
			1710 単位時間/80 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		51 人	51 人	4 人	7 人	11 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 該当学科の教育理念と育成方針に沿って、学習内容の確認・整理を行い、学生により学習効果の高い授業を教授することを目的として、学科設置の委員会を設けた。カリキュラムの制定、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価等を制定した。該当学科の新入生にその内容で作成した冊子を配り、学校のホームページで公開している。	
成績評価の基準・方法	
(概要) 単位修得の認定は講義等に必要時間の取得状況と当該科目の評価により行う。 客観的な指標として、出席時数が授業時数の 80% に達しない者は評価を受ける資格を失うことや授業科目の評価は優 (90 点以上)、良 (75 点から 89 点)、可 (60 点から 74 点)、不可 (59 点以下) とし、可以上を合格としており、学生に配布している学生便覧に記載しているほか、学校ホームページで公開している。	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 授業科目の単位修得の認定を受けた学生について成績会議の議を経て、校長が卒業を認定し、卒業を認定した者に対し、卒業証書を授与する。 このことについては学生に配布している学生便覧に記載している。	
学修支援等	
(概要) 全授業 15 回の講義内容のまとめプリントと講義内容の修得状況セルフチェックのためのミニテストを各授業で行っている。また、随時、担当教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。	

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載) ビジネスキャリア学科			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			

(主な学修成果 (資格・検定等))
(備考) (任意記載事項)
R7 新設学科

中途退学の現状 ビジネスキャリア学科		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
R7 新設学科		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
情報システム	200,000 円	650,000 円	426,000 円	施設維持費 210,000 円 演習実習費 180,000 円 健康診断 5,000 円 学生保険 6,000 円 (一年目のみ徴収) 教材費 25,000 円 *一年目の施設維持費 200,000 円と二年間の演習実習費 180,000 円減免
ビジネスキャリア	200,000 円	650,000 円	246,000 円	施設維持費 210,000 円 健康診断 5,000 円 学生保険 6,000 円 (一年目のみ徴収) 教材費 25,000 円 *一年目の施設維持費 200,000 円減免
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
当校独自の奨学金制度を複数に用意している。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://gic.ac.jp/wp-content/uploads/2025/07/R6_jiko_hyoka.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 自己点検・評価の結果について客観性と透明性を高めるとともに、学外の関係者から専門的な助言を得るため、外部評価を実施する機関として委員会を組織。関係教職員との意見交換を通して、本校の学校運営・教育活動について検証・評価及び助言を行うことを目的とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社ティー・アンド・ユー	2023年4月1日～2027年3月31日 (4年間)	企業
株式会社 JCBC	2023年4月1日～2027年3月31日 (4年間)	企業
SPI 株式会社	2023年4月1日～2027年3月31日 (4年間)	企業
株式会社イー・ビジネス	2023年4月1日～2027年3月31日 (4年間)	企業

東和 IT 専門学校	2023 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日 (4 年間)	卒業生
東和新日本語学校	2023 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日 (4 年間)	日本語学校
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://gic.ac.jp/wp-content/uploads/2025/07/R6_kankeisya_hyoka.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://gic.ac.jp
--